

祇園祭と くらしの関係って？

— 伝統行事・文化を環境問題という視点から考える —

講演

「祇園祭や京の暮らしを支えてきた里」

京都大学大学院地球環境学 教授
同フィールド科学教育研究センター センター長 柴田 昌三氏

「祭の裏にある“ごみ”の世界」

京都大学環境科学センター 助教 浅利 美鈴氏

〈パネルディスカッション〉

～伝統行事継承のために私たちができること～

日時

平成24年7月14日(土)

受付12:30 / 開催13:00～15:15

会場

京都烏丸コンベンションホール



京都市中京区烏丸通六角下る
七観音町634

- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅
徒歩3分
- 地下鉄東西線「烏丸御池」駅
徒歩4分
- 阪急京都線「烏丸」駅
徒歩3分

参加費
無料

お申し込みは
こちらまで

- お申込先・お問合せ先

NPO法人 エコロジー・カフェ 関西事務所
TEL.075-344-8067 (平日9:00～18:00)
Mail: kansai@ecology-cafe.net
HP: http://www.ecology-cafe.net

主催



NPO法人 エコロジー・カフェ 関西事務所



京都大学フィールド科学教育研究センター

- 後援 / 京都府、京都市・京都府教育委員会 (申請中)
(財)祇園祭山鉾連合会、KBS京都
- 特別協力 / 株式会社ジェイ・エス・ピー
- 協力 / 美しい祇園祭をつくる会、株式会社ベネフィット・ワン



祇園祭とくらしの関係って?

— 伝統行事・文化を環境問題という視点から考える —

日本には古くから受け継がれている多くの伝統行事・文化がありますが、これらは貴重な文化財であり、地域の人達だけではなく日本の貴重な財産です。伝統行事・文化を毎年開催すること、次世代に受け継ぐこと、これはとても大切なこと。しかし一方では、材料や人手、そしてお祭りにつきものの『ごみ』など、多くの課題も……。京都三大祭りである「祇園祭」の合間に、「暮らしと里山との関係」「自給率100%」「ごみゼロ」というキーワードから、保存・継承のあり方や、お祭りをより楽しむために私たち一人ひとりができることについて、考えてみませんか。

PROGRAM

プログラム

- 13:00 開会・挨拶
- 13:10 講演①
「祇園祭や京の暮らしを支えてきた里」
京都大学大学院地球環境学 教授 同フィールド科学教育研究センター センター長 柴田 昌三氏
- 13:50 講演②
「祭りの裏にある“ごみ”の世界」
京都大学環境科学センター 助教 浅利 美鈴氏
- 14:40 パネルディスカッション
～伝統行事継承のために私たちができること～
- 15:15 閉会

PROFILE



柴田 昌三氏

京都大学大学院 地球環境学 教授 景観生態保全論分野
同フィールド科学教育研究センター センター長
日本造園学会理事
日本緑化工学会副会長
World Bamboo Organization 常任理事

放置により生態系の均質化が進む里山を対象にして、その多様性回復のための再利用に関する研究、特に荒廃竹林の研究を通して、里山の抱える問題を解析している。また、竹類に関しては開花生態に関する研究や竹類を用いた緑化に関する研究、庭園における竹類の造園的利用に関する研究等もやっている。



浅利 美鈴氏

京都大学環境科学センター 助教

2000年、京都大学工学部地球工学科卒業。2004年、工学博士。研究テーマは「ごみ」。京都大学のエコキャンパス化にも取り組む。また、学生時代に「京大ゴミ部」を立ち上げ、環境問題の普及啓発・教育活動に取り組みはじめる。2003年には「京都ごみ祭」を開催。2005年からは、京都議定書達成に向けた「びっくり!エコ100選」や「京都議定書パースデーウォーク」などを展開。2012年1月8日に第4回を迎えた「3R・低炭素社会検定」の実行委員長も務める。

ジェイ・エス・ビーは、様々な**自然環境保護活動**に取り組んでいます。

NPO法人 エコロジー・カフェへの活動支援



全国で環境保全活動をしている同団体と協力し、UniLifeマンション入居者へも環境活動への参加を呼びかけています。

日本三大祭 祇園祭ゴミ分別回収ボランティアへの参加

チャレンジ25のアクションに基づき、日々の生活はもちろん、当社が主催する各種イベントにおいて、ゴミの分別、エコバッグの使用や割り箸回収を推進しています。この祇園祭においても、ゴミの分別回収への参加をUniLifeの入居者へ呼びかけ、社員も参加しています。



<http://www.jsb.co.jp/>

ミンディ植樹プログラム

約8年で幹周りが1mにも達するミンディの植樹を通じた、インドネシアの森林再生活動に参加しています。植樹から計画的な伐採、木材の有効活用までトータルで行い、森林を持続的に育てる計画です。ジェイ・エス・ビーでは伐採したミンディを家具として活用。UniLifeの学生マンションに設置し、入居者と一緒に環境を守っています。



学生マンションから、共生創造企業へ。
株式会社 ジェイ・エス・ビー
ジェイ・エス・ビーグループ